



# セキュアIoTプラットフォーム協議会の 取組みと組織

---

セキュアIoTプラットフォーム協議会  
事務局長  
白水 公康

研究開発

他団体との連携

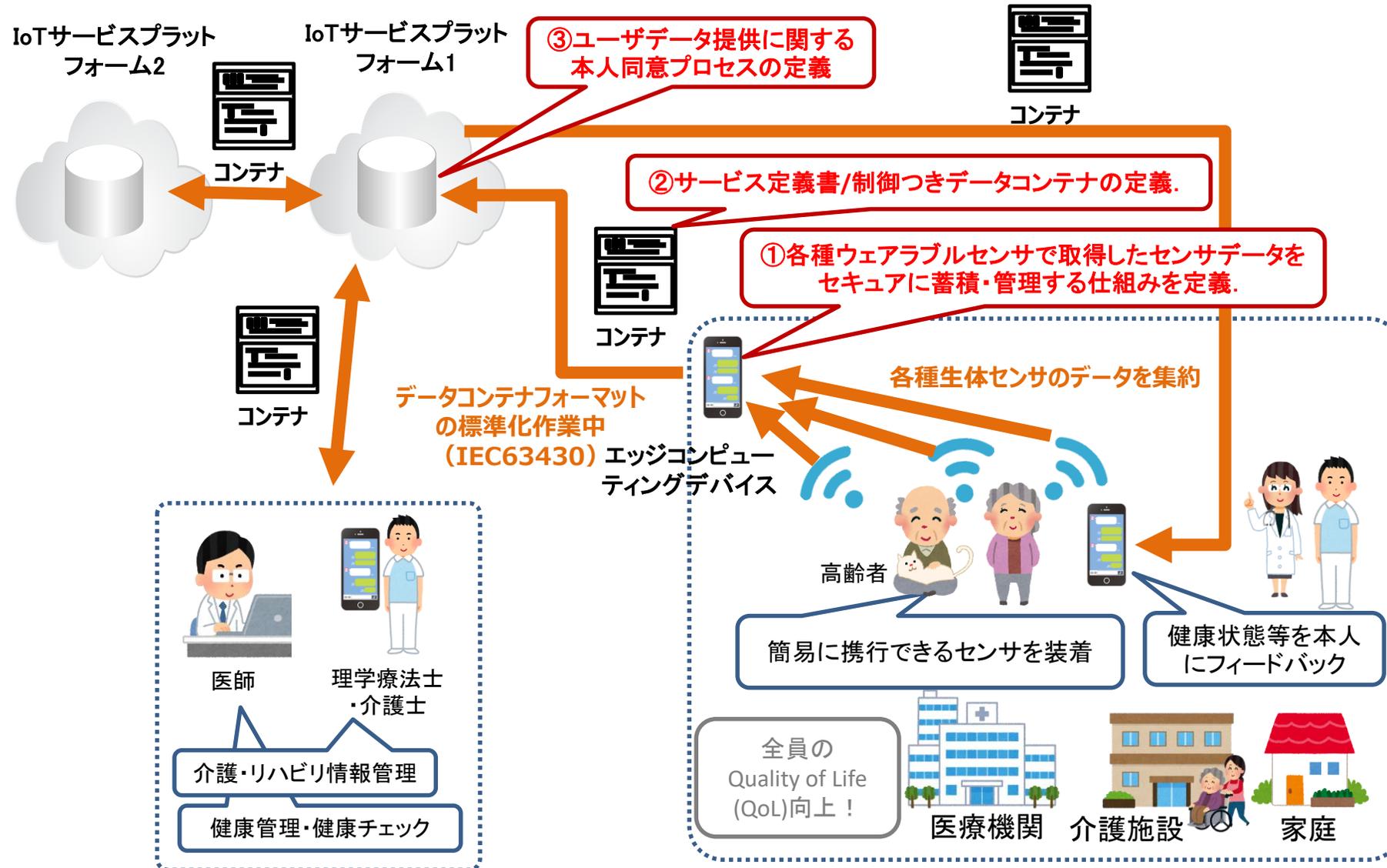
国内外  
セキュリティ  
規格対応推進

情報発信

## 研究開発

- 仕様検討部会
  - ・データライフサイクル分科会
- 標準化部会
- パーソナルデータストア (PDS) 部会

# パーソナルデータストア部会での検討サービス概念図



センサーデータストアシステム  
セキュリティガイドライン  
第1版

2025年9月

ウェアラブルセンサから取得したパーソナルデータを活用したサービスを提供する事業者を対象に、データ提供者(高齢者など)とデータ受領者(医療従事者など)が、安心かつ安全な環境でサービスを利用できるよう、留意すべきポイントを整理したガイドライン。

## 技術要求

- ① ウェアラブルセンサで取得したデータをセキュアに収集・蓄積・管理する仕組み
- ② サービス定義書/制御つきデータコンテナ
- ③ ユーザーデータ提供に関する本人同意プロセス

## セキュリティマネジメント 要求

- ① 運用  
情報セキュリティ、プライバシー、リスク管理・インシデント対応、運用計画など
- ② 体制  
マネジメント、コンプライアンス、人材教育など

国内外  
セキュリティ規格  
対応推進

- 欧州サイバーレジリエンス法 (CRA)
- JC-STAR
- ICAMとセキュリティクリアランス制度  
※ICAM: Identity, Credential, and Access Management)



- ・イベントでの啓発活動 (Edge Tech + 2025)
- ・勉強会の開催 (JC-STAR勉強会)
- ・オンラインメディアでの情報発信
- ・ドキュメントの発行(考察)

## 他団体との連携

- 組込みシステム技術協会(JASA)
  - ・セキュアIoTプログラム
- 日本テレワーク協会との連携
  - ・安心安全テレワーク施設ガイドライン
  - ・安心安全テレワーク施設認証プログラム
- メタバース推進協議会 + JSSECとの連携
  - ・メタバースセキュリティガイドライン
- 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会(JDX)
  - ・日本セキュリティ大賞



優れたセキュリティガバナンス、運用プロセス、人材育成の仕組みといった組織全体の取り組みを評価するアワード。これらの取り組みに光を当て、その知見を広く共有することで、社会全体のセキュリティレベル向上に貢献することを目指す。

## 【審査員】

桑名 英二 氏

情報セキュリティ大学院大学 学長

桑原 義幸 氏

元広島県技術顧問 (CTO)

杉山 一郎 氏

EY Japan Forensics

園田 道夫 氏

NICTナショナルサイバートレーニングセンター長

## ●セキュリティ対策・運用部門(行政機関)

【大賞】

神奈川県横須賀市

【優秀賞】

広島県大崎上島町

【奨励賞】

京都府舞鶴市

## ●セキュリティ対策・運用部門(民間企業)

【大賞】

ライフネット生命保険株式会社

【優秀賞】

太田油脂株式会社

【奨励賞】

パーソルホールディングス株式会社

## ●人材育成部門

【大賞】

東京電機大学 国際化サイバーセキュリティ学特別コース(CySec)

【優秀賞】

香川大学サイバー防犯ボランティアSETOKU

## ●セキュリティ運用支援部門

【大賞】

NTTテクノクロス株式会社

【優秀賞】

セキュリティの信用評価プラットフォーム「Assured」

Pipeline株式会社

脆弱性管理クラウド「yamory」

【奨励賞】

S&J株式会社

## 情報発信

- JAPANSecuritySummit Update
- JAPANSecuritySummit 2025
- 旭川セキュリティシンポジウム

情報発信活動を「**JAPANSecuritySummit**」という名称でブランディング。  
オンラインメディアとイベント/セミナーの連動による情報発信を展開。  
中立的な媒体から情報発信することで、より広範な対象者にリーチ。



## オンラインメディア JAPANSecuritySummit Update



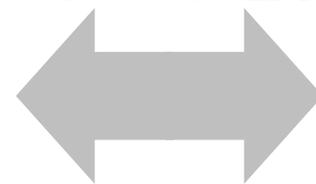
<https://japansecuritysummit.org/>

## オンラインイベント JAPANSecuritySummit 2025



<https://jss2025.japansecuritysummit.org/>

コンテンツ連携





JAPAN

Security Summit 2025

セキュアDX実現に向けた最新戦略  
~守りから攻めのセキュリティへ~

2025年10月28日(火) ~ 11月24日(月)

## 開催期間

2025年10月28日(火) ~ 2025年11月24日(月)

・10月28日

・10月28日~11月24日

オープニングデイ（臨席開催）@霞が関プラザホール

オンデマンドセミナー

## プラチナスponsor

株式会社エーアイセキュリティラボ  
サイバートラスト株式会社  
デジタルアーツ株式会社

## ゴールドスponsor

株式会社SYNCHRO  
フォーティネットジャパン合同会社

## シルバースponsor

NECセキュリティ株式会社  
PIPELINE株式会社  
ワンビ株式会社

## 主催

JAPANSecuritySummit 2025 実行委員会

## 共催

S/MIME推進協議会

一般社団法人 組込みシステム技術協会(JASA)

一般社団法人 サイバーセキュリティ連盟

一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)

一般社団法人 情報通信技術委員会(TTC)

一般社団法人 セキュアIoTプラットフォーム協議会(SIOTP協議会)

一般社団法人 ソフトウェア協会 (SAJ)

特定非営利活動 デジタル・フォレンジック研究会(IDF)

一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス(CSAジャパン)

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会(JSSEC)

一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会(JSSM)

一般社団法人 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会(JDX)

一般社団法人 日本テレワーク協会(JTA)

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)

一般社団法人 日本UAS産業振興協議会(JUIDA)

バイエルン州 駐日代表部

フィッシング対策協議会

The Linux Foundation



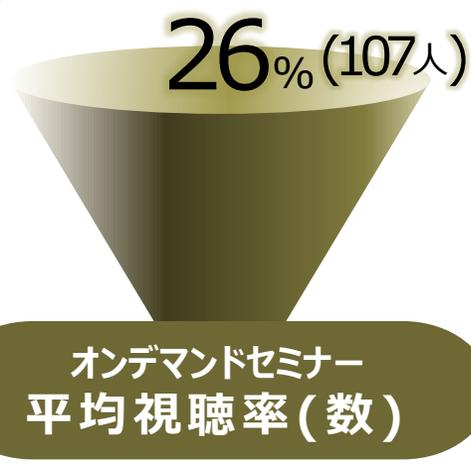
▶ 前年比: 100.3%  
(JSS2024: 867人)



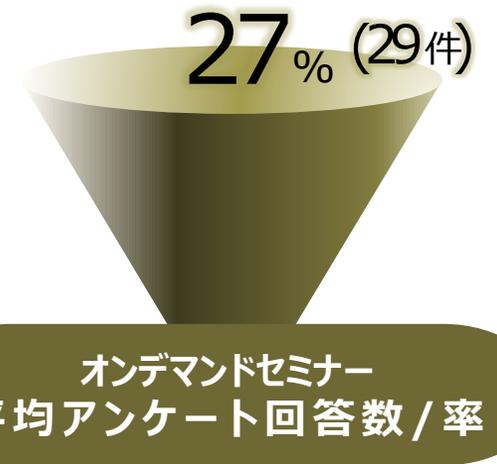
▶ 前年比: 130%  
(JSS2024: 513人)



▶ 前年比: 133%  
(JSS2024: 312人)



◀ 前年比: -14ポイント  
(JSS2024: 40%)



▶ 前年比: +1ポイント  
(JSS2024: 26%)

# JAPANSecuritySummit 2025 オープニングデイ



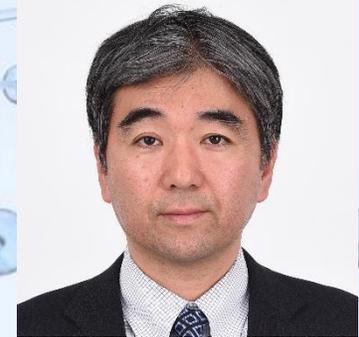
**赤坂 晋介 氏**  
総務省  
大臣官房サイバーセキュリティ  
情報化審議官



**武尾 伸陸 氏**  
経済産業省  
商務情報政策局  
サイバーセキュリティ課 課長



**中溝 和孝 氏**  
国家サイバー統括室  
審議官



**中野 憲幸 氏**  
防衛省  
サイバーセキュリティ  
情報化審議官



**坂 明 氏**  
デジタル庁  
CISO



**猪俣 敦夫 氏**  
大阪大学  
教授, CISO



**桑原 義幸 氏**  
前 広島県  
CIO / 情報戦略部長  
株式会社Trive Secure Lab  
執行役員副社長



**安田 真悟 氏**  
国立研究開発法人情報通信研究機構  
(NICT)  
サイバーセキュリティ研究所  
CYNEX研究開発運用室 室長

# ASAHIKAWA SECURITY SYMPOSIUM 2025

NEXT STANDARD FROM ASAHIKAWA

2025.10.30 (Thu), 31 (Fri)

DAY1 16:00~19:30 / DAY2 10:00~17:00

受付開始：DAY1 15:00 / DAY2 9:00

場所：北洋ホール(北海道旭川市4条通9丁目 旭川北洋ビル 8階)

定員：150名

参加費：北海道内に在住/勤務の方 ¥8,000(税込)/北海道外の方 ¥10,000(税込)

※北海道内の学生無料

北海道中央部である上川地域における  
ITおよびサイバーセキュリティ意識の醸成、  
対策の向上、産官学連携強化を図ることを  
目的に開催。

# 旭川セキュリティシンポジウム2025 講演内容



10/30 (木) 16:30-17:15  
**他人事から自分事に変えるセキュリティ～道央からつながる・つなげる道標～**

**猪俣 敦夫 氏 / 大阪大学 教授, CISO**

2020年世界中が否応なしに巻き込まれたコロナ禍を経て大きな社会変容が起きたことは記憶に新しい。しかし医療機関や交通機関などサイバー攻撃によって大きな被害を受けたニュースなどこれは都市部に限った話ではない。特に地方こそセキュリティインシデントの影響は計り知れない。そこで本講演では登壇者が関わった事案をケーススタディとして北海道の中央である旭川を起点として何をすべきか、どんな繋がりを作るべきか、について言及してみたい。



10/31 (金) 10:00-10:45  
**IoTを活用した防災・減災、地域創生への取組**

**又江原 恭彦 氏 / 株式会社ラック MSS統括部 統括部長**

IoTを活用したマネージドサービスによる日本国内での防災・減災事業に取り組み始めており、その活動を更に地域創生につなげていく挑戦を進めています。旭川市を中心にした実績についてご紹介し、皆様のご参考になればと思います。

## スポンサーセッション

株式会社パロンゴ

株式会社ラック

ワンビ株式会社

ソフトバンク株式会社

サイバートラスト株式会社

株式会社ラック

グーグル合同会社(ランチセッション)



10/31 (金) 11:30-12:15  
**電力スマートメーターの通信ネットワークを利用したIoT通信サービスについて**

**田中 敏雄 氏 / 北海道電力ネットワーク株式会社 企画部 スマートメーターネットワーク事業推進グループ グループリーダー**

当社では、全道に374万台を設置した電力スマートメーターの通信ネットワークを活用して、昨年度から各インフラ事業者（水道＝自治体、ガス、灯油配送）向けにIoT通信サービスを提供しているため、本サービスの概要や実績をご紹介します。



10/31 (金) 14:00-14:45  
**北海道エアポート株式会社におけるサイバーセキュリティ対策事例のご紹介**

**秋山 重幸 氏 / 北海道エアポート株式会社 総合企画本部 企画部 情報企画課 担当課長**

2019年の会社設立（合併）時から現在まで、弊社ホームページや社内ネットワーク統合において顕在化したサイバーセキュリティの課題、並びにこれまでの主な解決・対応策をご紹介します。皆様のご参考情報として、今後ご活用いただけますと幸いです。



10/31 (金) 15:45-16:30  
**外国への技術流出のリスク**

**青山 巧 氏 / 北海道警察 旭川方面本部 警備課 警備課長**

我が国では、令和4年に自律性の向上を柱とする「経済安全保障推進法」が成立しました。技術情報が流出した場合、他国で軍事転用される等、日本の安全保障上のリスクとなります。これを未然に防止するため、日本では現在、官民一体となり経済安全保障に取り組んでいるところ、警察では、企業・アカデミアに対し、実際の検挙事例から情報流出の実態や未然防止対策について情報提供するアウトリーチ活動を推進しています。

# 組織体制の変更

